

キャラクター名
日向龍司

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル		ワークス	エグゼクティブ	カヴァー	高校生
	エグザイル					
オプション			年齢	18	性別	男
覚醒	死	衝動	闘争	初期侵食率	34	%
出自	親の理解	経験	大事故	邂逅	ビジネス	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	41
肉体	4	0	2		4	10	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	0	1			1	戦闘移動	10
社会	2	1	0		3	6	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1	10	射撃			RC			交渉	3	5
回避		5	知覚			意志	1		調達	7	
運転:(運転,四輪)	2		芸術:			知識:			情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
日本刀	白兵	10r+10	3	5		
素手	白兵	8r+11	0	-5		
融合剣技:強欲な剣	白兵	13r+10	0	5+[LV*2]		浸食率10上昇。ドッジ判定ダイス-1
融合剣技:貪欲な剣	白兵	14r+10	0	5+[LV*2]		浸食率8上昇。ドッジ判定ダイス-1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
黒のIDカード	
スペシャルエージェント	
広報企画七課	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
器物使い(ツールマスター)	P	D	ロイス	N
両親	P	感服	N	嫌悪
神城早月	P	信頼	N	不安
神城氷河	P	友情	N	脅威
神城大地	P	懐旧	N	脅威
	P		N	
	P		N	

最大財産P: 26 残り財産P: 9

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:エグザイル	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 組み合わせたエフェクトのクリティカル値-LV(下限値7)								
貪欲なる拳	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 白兵攻撃の判定ダイス+[LV+1]								
爪剣	1	3	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果: 白兵攻撃の攻撃力+[LV*2]。ドッジ判定ダイス-1								
伸縮腕	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果: 白兵攻撃の射程を視界に変更。判定ダイス-[3-LV]								
ダヴィンチの調和	2							
効果:								
予備調達	3							
効果:								
マルチアタック	1							
効果:								
壁に耳あり	1							
効果:								
異形の歩み	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: どんな場所であろうと移動可能								
鍵いらすの歩み	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: どんな隙間であろうと通過可能								
擬態の仮面	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 自分の顔や姿を最適なものに变化させる								
効果:								
効果:								

「私に何か御用でしょうか？」

仕事時の姿は、眼鏡を掛けた吊り目の誠実そうな男性で、表向きではこっちの姿で通っている。ていうか、こっちが元の顔。ついでに、眼鏡は伊達眼鏡。事件や根回しの時の姿は、多種多様。プライベートの時の姿は、仕事時の姿から眼鏡を外しただけ。共通しているのは、刀を帯刀しているスーツ姿の男性という事。

眼鏡を掛けている時:一人称「私」、二人称「貴方」、三人称「彼」「彼女」「～さん」。常に敬語で話す。
眼鏡を掛けてない時:一人称「俺」、二人称「お前」、三人称「あいつ」。ため口。
生まれた時は普通の子で、幼少期の頃からビジネスの事を中心に教育を受けてきた。
中学1年生の頃、学校に向かう最中にトラックに轢かれ、一度死亡。しかし、彼の死に対する恐怖がレネゲイドウイルスを活性化させ、オーヴァードとして復活する。事故の件はトラウマになった。
オーヴァードとして復活した彼は、何事も無かったかの様に学校に行き、他の生徒達に気味悪がられる。(事故に遭っても怪我一つなく学校に来ている事など)その後、両親の判断でN市の国際環境情報大学に転校し、そこで彼の日常を過ごした。もちろん、親が彼をオーヴァードとして育てる為である。尚、両親には事故に遭ったその日からオーヴァードである事がバレた。そして、両親がUGN関係者である事を知り、他者にオーヴァードである事を知られない様に情報を隠蔽していた事などが判明する。そして、今まで神城グループの重役に必ずなる様に釘を刺された。内部から干渉しやすくする為に駒を増やすためだとか。
中学3年生になった彼は親の策略通り、神城グループ支社の就職試験を受け、今までの知識を最大限活用する事で正社員の地位をこぎ着ける。その後、与えられた仕事以外の事も淡々としていき、仕事の成果や地道な努力によって地位を順調に上げ、やがて神城グループの重役の一人となる。重役となり、今まで自分を縛ってきた親から与えられた任務を完了させた事で、多少の余裕ができた彼は過去を見直す。そして、これが自分が本当に望んだ事なのか暫し考える。そして、考えても仕方ないという結論に辿り着き、残った時間を仕事に打ち込んだ。
早月とビジネス上のパートナーになったのは、このすぐ後の出来事。